



箕面市自転車安全教育デジタル教材の制作について

平成22年(2010年)1月、大阪府箕面市で発生した自転車と車の事故により、自転車を利用していた中学生が命を失いました。

この教材は、子どもを失ったご家族が、再発防止の願いを込め、箕面市に寄贈された貴重な寄附金を活用し、制作しました。

全国の子どもたちの自転車利用における安全教育に、広くお役立てください。

箕面市自転車安全教育デジタル教材制作検討チーム

コンセプト

○自転車を安全に利用するためのルールを学ぶ。

- ・自転車は手軽で便利な反面、決して安全な乗り物ではないことを理解する。
- ・命の尊さを知る。

※小学生から中学生を対象とし、わかりやすく、実践につながる教育教材としました。

別紙にて、子どもの発達段階に応じた指導者用資料を付録しています。

概要

○ふだん、街でみかける自転車の利用シーンに潜む危険を取り上げています。

- ・イヤホンで音楽を聴きながらの走行
- ・自転車の横並び走行
- ・携帯電話を使用しながらの走行
- ・交差点に一旦停止をせずに進入 など

○危険な運転により、歩行者を傷つけ、加害者にもなることを伝えています。

○失われた命は取り返しがつかないこと、命は自分で守ることを伝えています。

○交通事故によって子どもを失ったご家族の思いを、手記で伝えています。

視覚効果

○学習をした子どもが、事故の恐怖を実感し、事故につながる危険な行為をしなくなることを狙いとし、この教材には事故を再現したシーンが含まれています。

○事故により、大きなけがをすることや身体に障害をもつこともあることから、この教材には、体の一部を失う描写が含まれています。

※児童生徒への指導においては、適切なご配慮をお願いします。